

TECHNICAL REPORT -01

保水性平板の車イス走行官能性について

1. はじめに

交通バリアフリー法を背景に、水はけの良い透水性舗装や車イスにおける走行性が注目されている。本試験では、保水性平板と他の透水性舗装との車イス走行快適性を、官能比較により確認する。



試験風景

2. 試験の概要

舗装の種類:①保水性平板舗装 ②透水性アスファルト舗装

車イス種類:手動車イス(キャスター6インチ)

試験の期間:平成15年5月13日~平成15年5月17日

3. 試験の結果

試験結果を以下に示す。

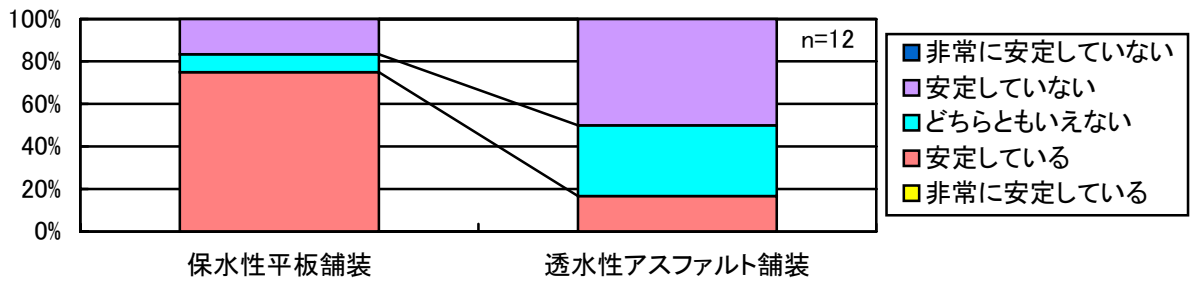


図-1 車椅子走行の安定性

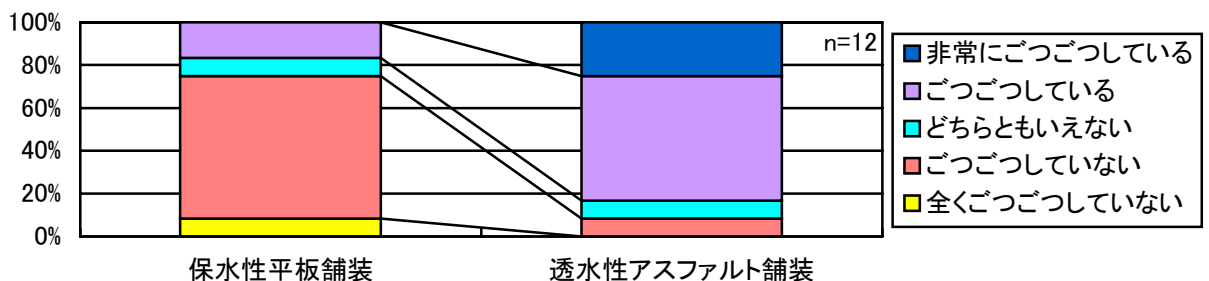


図-2 車椅子走行の振動

4. まとめ

本試験結果より、保水性平板を用いればより快適な車イス走行の舗装が可能であることが確認された。これは、保水性平板舗装の目地よりも、本現場での透水性アスファルト舗装の骨材粒度の粗さ(10~20mm程度)の方が、車イスキャスター(6インチ程度)に大きな振動を与えるためと考えられる。



保水性平板舗装



透水性アスファルト舗装



平板の目地と粒度の違い

以上